

明石塾

(後援 群馬県教育委員会)

2024年度 塾生募集



今の高校生活を一層充実したものにしてみませんか。

明石塾では志高い仲間と、発言力、行動力を伸ばし、一緒に考え、
議論できる機会があなたを待っています。

群馬県立女子大学 外国語教育研究所

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1
TEL. (0270)65-8511 FAX (0270)65-9538

2024年度 『明石塾』 塾生募集要項

<開塾の精神>

国際的な視野と国際舞台で堂々と発言し行動できる力を備え、高い志と行動力に富んだ人材を将来に渡って輩出することを目的とする。

<概要>

- ◆塾長 塩澤寛樹（群馬県立女子大学長）
- ◆主催等 （主催）群馬県立女子大学外国語教育研究所 （後援）群馬県教育委員会
- ◆実施内容 「明石塾」では、国際情勢、日本の現状や多文化理解に関する講義や英語研修、体験型研修等を行う。元国際連合事務次長の明石康氏をはじめ、グローバル社会の最前線で活躍する方や県立女子大学教授等による講義とともに、ネイティブスピーカーによる充実した英語研修を実施する。また、海外研修やフィールドワーク、塾生との討論などを通して、発言力や行動力を身につけ、国際的な視野を養う。県立女子大学の学生がチューターとなって塾生の研修をサポートする。
- ◆年間予定 7月27日(土) 入塾式及びオリエンテーション
8月～2月 研修（月に2回程度、土曜日を中心に開催）
〔大学教授による講義、英語研修、社会人講義、討論テーマ、
県内・県外フィールドワーク（原則参加）など〕
12月下旬又は、 東南アジア方面海外研修（希望参加制）
1月上旬 ※研修が授業等と重なる場合、学校に公休扱いを依頼します。
2月15日(土) 研修成果発表会及び修了式
- ◆研修場所 群馬県立女子大学 他 ※JR新町駅、JR前橋駅からのバスの利用が可能です。
- ◆参加負担金 年間受講料 8,000円（研修を欠席する場合でも相当分の返却はしません。）
県内・県外フィールドワーク費用 8,000円程度（現地集合、現地解散。実費負担。）
海外研修参加費用 30万円程度（参加人数により、費用が変わる場合があります。）

<塾生応募資格・応募方法・選考>

- ◆募集人数 20名程度
- ◆応募資格 県内の高等学校（高等専門学校含む）、中等教育学校後期課程に在籍する者
県外の高等学校（高等専門学校含む）、中等教育学校後期課程に在籍する県内在住者
- ◆応募方法 応募用紙に必要事項・応募理由を記入し、外国語教育研究所へ送付、もしくは持参
※応募用紙は県立女子大ウェブサイトからもダウンロード可能です。
※保護者の同意と学校長の承諾を要します。
※部活動を行っている者は応募前に必ず部顧問に相談してください。
- ◆選考 締切 6月12日(水) 午後5時必着
一次選考 書類選考
二次選考 7月6日(土)
※面接、筆記試験等を予定。一次選考結果通知時に時間、場所等の案内を同封します。



<応募用紙郵送先・問合せ>

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1
群馬県立女子大学 外国語教育研究所 TEL 0270-65-8511(代表)
E-mail: flri-one@mail.gpwu.ac.jp

<塩澤塾長からのメッセージ>

～ 2023年度卒塾式塾長式辞より抜粋 ～

これからは変化の激しい時代ということがよく言われています。予測不能で変化が激しいため、これまでの過去の前例だけでは駄目だとか、様々な能力を身に付けなければいけないだとか、非認知能力が大切だとか、本当に色々なことが言われております。これからの時代を生きていく人は大変だと日々感じています。



社会で生活する中で、自分では如何ともしがたいような変化、試練、天災、感染症など、多くの試練が皆さんに降りかかるかもしれません。そういうことに否応なしに対応していかなければなりませんし、また社会の変化も止まってはくれません。しかし、明石塾で様々な経験を積まれた皆さんなら、きっと見事に、そしてしなやかに生きていけると私は確信しています。皆さんのような人が、私や保護者の方々の世代も含め、これからの日本を引っ張っていってくれる人になって欲しいと心から思っています。

これからの皆さんの発展、そして皆さんの思う将来が実現することを祈念しています。将来、皆さんと語り合えることを楽しみにしています。

塩澤寛樹塾長略歴

群馬県立女子大学長（外国語教育研究所長兼務）

慶應義塾大学文学部哲学科卒業（博士（美学））。平成26年、群馬県立女子大学教授、令和5年10月、学長に就任。専門分野は日本美術史、日本彫刻史。研究テーマは、中世、特に鎌倉時代の仏教彫刻史及び肖像彫刻史の研究。NHK2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の仏教美術考証をつとめる。著書に『大仏師運慶 工房と発願主そして「写実」とは』（講談社、2020年）など多数。

<明石康 名誉塾長>

～ 「2023年度明石康名誉塾長御講義」からの抜粋 ～

皆さんの人生には色々なことがあると思います。友を失うこと、人の信頼を失うといったこともあるかもしれません。しかし、そのために自分の立場を変えてしまうことがあってはいけません。良いと思ったことをやり通すという「決意」が重要なのです。

眼は遠くを
明石康

2024年度『明石塾』塾生応募用紙

(2024年 月 日 提出)

ふりがな		写 真 (3cm×4cm) *裏面に記名を
氏 名		
生年月日	平成 年 月 日 (歳)	
住 所	〒 電話番号	
学 校 名	(学年)	
部(クラブ)活動 学内・学外活動		
自己P R		
意 志 確 認	<input type="checkbox"/> 明石塾生として選定された場合、そのことを強く自覚し、休まず全力で取り組みます。 <input type="checkbox"/> 「開塾の精神」を理解し、明石塾で求めている人材となるべく努力します。 上記の内容を十分に理解し、明石塾生に応募します。 ※ <input type="checkbox"/> に✓を入れてください 2024年 月 日 本人署名	
個人情報の扱いに 関する同意	私は、下記の個人情報取り扱い事項について同意します。 ・ 塾生選考事務 ・ 選考後の明石塾運営事務 ・ その他、明石塾に関する必要な事務 2024年 月 日 本人署名	
保護者の同意	上記「意志確認」を理解の上、明石塾の塾生に上記の者が応募すること、塾生に選定された際には研修に参加すること、に同意します。 2024年 月 日 保護者署名 (続柄)	
学校長の承諾	明石塾の塾生に、上記生徒が応募することを承諾します。 塾生に選定された際には、研修に参加できるよう配慮します。 2024年 月 日 学校名 校長名 印	

(この様式をコピーしたものを応募用紙として使用し、記載・提出しても構いません。)

塾生A 明石塾の活動を通して、他の塾生たちのように、人を楽しませる能力が必要だと思いました。そして、今までの講義や活動の学びとして、どんな手段でも相手に意見を伝える能力や、ステレオタイプを捨てた見方をする力の必要性をあらためて感じました。仲間のすごい発表を聞いて、学んだことを上手くアウトプットする力が絶対的に必要だと学びました。明石塾に入れたことで、胸に響く経験ができています。残り少ない明石塾で力をつけて、みんなにできるだけ近づきたいと思います。こんな私に明石塾という学びの場をいただき、本当に感謝しています。

塾生B すべての班の人たちが素晴らしい発表をし、とても良い刺激となりました。私が考える国際的に活躍するために必要な能力は、「コミュニケーション力」だと考えます。コミュニケーションは相手と自分をお互いに知るツールとなり、異文化交流にも役立つと考えます。また、小林前塾長は、「質問力」を伸ばすということの重要性を仰っていましたが、まさに「質問力」も国際的に活躍するために必要な能力の一つではないかと考えています。明石塾での大学講義や英語研修を通して躊躇せずに質問できるようになったと感じています。

塾生C 私の中のイスラム教のイメージは、中東で信仰されていて、時には衝突が起こる宗教でした。しかし、今回の東京フィールドワークで、イスラム教はアジアでも熱心に信仰されていて、その教えは人間同士を慈しみ合うべきというものであることを学び、自身のステレオタイプを払拭することができ、一気に視野が広がった気がします。

塾生D 今まで自分はそもそも「考える」ことを放棄し、他の方の意見に賛同することばかりしていることが多かったのですが、明石塾ではたくさん「考える」機会があるため、頭をフル回転させながら、自分の考えを深められるようになりました。また、交友関係も広くなり、今後の人生においても素晴らしい友人となる多くの仲間と出会い、共に意見を交わし、成長できたと感じています。

塾生E 海外研修を終えて、日本で過ごしている中で当たり前になっていた感覚を再確認でき、日本は恵まれた国だと思い、甘えすぎないようにしようと、考えを改める機会になりました。現地の多くの人と触れ合うことを通して、文化の違いを超えて人の温かみを感じられるようになりました。

塾生F 私は仲間のレベルの高さに圧倒され、内面では自信を失っていることが多かったです。しかし、仲間の好奇心旺盛な姿を見て、自分もみんなみたいになりたいと思い頑張りました。今までは、否定的なことを言われるのが怖くて、学校でもなかなか質問することができなかったのですが、明石塾に入ってから、知りたいことを放っておかないことを意識するようになり、堂々と質問できるようになったと感じています。ここで学んだことを活かして、学校でもみんなを引っ張っていけるような存在になりたいです。

塾生G 毎回刺激しかない研修でした。自分の考えとは違った考えを提示してくれたり、物事に対する考え方を教えてくれたり、全ての授業でこれから活かしたいと思うことをたくさん学ぶことができました。また、「異文化交流」や「批判的思考力」等について、もっと深く掘り下げることができました。

〈2023年度塾生の研修振り返りから抜粋〉